

降誕節第5週 歓迎礼拝

2015年1月25日 第一礼拝(8:00～) 歓迎礼拝(10:30～) 夕拝(19:30～)

第1部	プレイス アワー PRAISE HOUR (賛美の時)		
※歓迎の賛美	—	同
第2部	バイブル アワー BIBLE HOUR (みことばの時)		
聖書朗読	『ヨハネの福音書』5章1-9節前半(新約181頁).....	司	会者
黙想	—	同
メッセージ	「長い苦しみ、短い言葉」.....	近	伸之牧師
黙想	—	同
※応答の賛美	「きみは愛されるため生まれた」.....	—	同
感謝の献金	(新聖歌55).....	—	同
感謝の祈り	横堀	信子姉
諸案内	(来信と集会案内).....	司	会者
諸報告	(来会者紹介と諸報告).....	近	伸之牧師
※頌栄の賛美	新聖歌198「GOD BLESS YOU」(1番のみ).....	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」.....	—	同
※祝福の祈り	(新聖歌59-7).....	近	伸之牧師
※後奏			
第3部	フェロウシップ アワー FELLOWSHIP HOUR (交わりの時)		
愛餐会			

※印の所ではご起立をお願いします

司会:	片山 勝三兄	録音・映像:	横堀 正美兄	CS担当:	小林 洋子姉
集会:	小山 千春姉	賛美リード:	賛美チーム	説教の録画:	山崎 敬典兄
		掃除:	小川 柳子姉		

説教メモ

- 「よくなりたいか」(6)は、「イエス」か「ノー」を聞く言葉。しかし彼は、意識的に二者択一を避けた。いやされたいという思いはあっても、もっと大きな関心は、失われた38年間をどうやって取り戻すかということだった。現実が劇的に変わるからと言って、過去を容易に振り切ることはできない、それが人の心である。
- 人が福音を受け入れることができない理由のひとつは、たとえどんな過去であってでも否定できないというところにある。しかし福音は、過去を否定するのではなく、新しい意味を与えるもの。「永遠」という新しい感覚は、たとえどれほど長い期間の苦しみであろうとも、過去は決して無駄ではないことを教えてくれる。
- 38年間という長い苦しみと、「いやされたいか」という短い言葉は、まことに対照的である。長い年月を買い戻すために、人の言葉は同じくらいの長い時を必要とするが、神の言葉は一瞬である。イエスは、この人の前を決して去ることなく、みことばを与えてくださった。そして私たちをも、決して見捨てることはない。

個人、団体からの来信

2015年1月25日

教団定期便/
新潟福音放送協力会より「ニューズレター」No.204/
新年聖会講師の奥山 信 先生、恵美先生ご夫妻より感謝のハガキ
まこと えみ

先週の集会出席者数

1/18(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 子ども 成人男性- 幼児女子2 小学女子1 中学女子- 高校女子- 3名 成人女性2			
1/18(日)	第一礼拝	男2 女3 計5	1/19(月)	月曜家庭集会	男3 女3 計6
	第二礼拝	男11 女19 計30	1/21(水)	救 禱 会	男3 女5 計8
	夕 拝	男1 女- 計1	1/23(金)	しゃべり場夕バタ	男- 女4 計4
			1/23(金)	金曜祈禱会	男- 女4 計4

諸集会のご案内

1/26(月)	(月曜家庭集会は休会)		
1/28(水) 19:30~	バルナバ祈禱会	教会堂	司 会: 笹川 清子姉
1/30(金) 13:30~	しゃべり場夕バタ	渡辺智子姉宅	問合先: 小山 千春姉
1/30(金) 夜	金曜祈禱会	教会堂	

2/1(日) 降誕節第6週

第一礼拝 8:00~	司 会: 近 伸之牧師 説 教: 近 伸之牧師	音 響: 片山 勝三兄 献 金	聖餐準備: 担当役員
教会学校 9:00~	担 当: 佐藤 繁実兄		
聖餐礼拝 10:30~	司 会: 近 伸之牧師 集 会: 横堀 信子姉 配 餐: 横堀 正美兄	音響・映像: 片山 勝三兄 奏 楽: 片山 敬子姉 説教の録画: 山崎 敬典兄	感謝祈禱: 横山 洋平兄 配 餐: 横堀 正美兄 掃 除: 片山 初子姉
主日の予定	CS教師会 役員会	昼食時 午後2:00~	応接室 (変更する 礼拝堂 場合あり)
礼拝について (聖餐礼拝)	聖餐: 46 頌栄: 62	感謝: 10 派遣: 53	応答: 395 『マタイの福音書』4章12-25節
夕拝 19:30~	司 会: 近 伸之牧師 説 教: 近 伸之牧師		

報 告

- 礼拝の感謝
歓迎礼拝の恵みを感謝します。この後は第3部として愛餐の時を持ちます。どうぞ皆さまお残りください。
- 宣教区のこと
明後日1/27(火)午後7時より新潟福音教会において宣教区会議が行われます。当教会より近牧師と横堀正美兄が出席します。主の導きの中、建設的な話し合いと決議をする事が出来ますように。
- 聖餐礼拝のため
次週2/1(日)は聖餐礼拝を行います。祈り備えつつ礼拝に臨みましょう。教会を離れている方、欠席しがちな方が聖餐にあずかれるように覚えて祈りましょう。

人が死んだ時には「不幸があって…」という方をするのが常です。ところが不思議なことに聖書には「今から後、主にあって死ぬ死者は幸いである」(『ヨハネの黙示録』14章13節)ということばがあります。それはいったいどういう意味なのでしょうか。

本来人間は、死なないですむように造られたものでしたが、「ひとりの人(アダム)によって罪が世界にはいり、罪によって死がはいり、こうして死が全人類に広がった」(『ローマ人への手紙』5章12節)とあるように、死は本意に、人間の世界に入り込んできました。そういう意味で、死は確かに不幸な出来事といえますし、また、本意に親しい者との別離を余儀無くさせる点で不幸です。

それに人間が死を恐れるのは、「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」(『ヘブル人への手紙』9章27節)ということとを、本能的に知っているからではないでしょうか。

私が四国で伝道していた時、いつも「俺は死にたい」と言っていた青年が、ある時、もう少しで死ぬという目にあい、「死ぬのは嫌だ」と思ったそうです。それは「このまま死んだら今までしてきたこと

の決着をつけさせられる」と瞬間的に思ったということです。このように、何の希望もなく、審きが待っているかもしれない(実は確かなのですが)という所に行くしかないのが死であるとするならば、死はまさに不幸そのものであると言わなければなりません。

岡山のあるおばあちゃんが「先生、天国の夢を見ましてね。そこで死は終わりではなく、栄光のみ国への入口だということがわかり、何だか死ぬのも楽しみになりましたよ」と言われたことがあります。数年後この方は、「あのみ国に行ける日がきたよ。わたしはほんとうに幸せ者だ。イエス様ありがとう」と言って召されたそうです。そう言わせるものは、いったい何でしょうか。

聖書には、「今から後、主にあって死ぬ死者は幸いである」とあります。不幸なはずの死を幸いに変えたものは、イエス・キリストの十字架による罪の購いの完成と、死に勝利して復活されたという事実があってからのことです。そして、このイエス・キリストを信じる「今から後」ということは、あなたにもあてはまることなのです。



週 Weekly Bulletin 報



2014年度教会目標

「互いに励ましながら」

年間目標 牧師・信徒がそれぞれ同じ教会のからだの一部分であることを自覚し、とりなし、励ます教会へ「ただ強く、雄々しくあってください」(ヨシヤ1:18b)

中期目標 5つの地域群(早通・豊栄・新発田・阿賀野・新潟)から、各地域へ福音を伝えていこう「アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシャ人も主のことばを聞いた」(使徒19:10)

長期目標 県下20市の中で唯一教会のない阿賀野市に向けて、宣教区レベル開拓への斥候として「キリストの御名がまだ語られていない所に福音を宣べ伝えることを切に求めたのです」(ロマ15:20)

ライフライン

毎週土曜日 朝5:30~6:00 BSNテレビにて放送中です。
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



1/31(土)「裁判官から弁護士へ～揺るぎない土台の上に～」今村和彦さん
■メッセージ: 安海靖郎

東京都杉並区に事務所を構える弁護士の今村和彦さんは、2014年春まで裁判官として主に家庭裁判所で働いてきた。20年以上、様々な裁判や調停に関わりながら、自分自身の内面や家庭の問題にも向き合ってきたという。これまでの経験を生かしながら、弁護士として働いている今村さんにお話を伺う。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGin。ここから始まる、あなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、
『ライフ・ライン』の協力教会です。

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.com>

電子メール: info@toyosakakyokai.com

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

